

現場から生まれる多彩なサービスが充実 杜の都の公園墓地『みやぎ霊園』

今年で開設53年目を迎える宮城県仙台市のみやぎ霊園（運営・公益財団法人アタクシア）は継続的に造成を重ねており、現在6500区画まで発展している。仙台駅から車で約15分、東北自動車道・仙台宮城インターチェンジよりすぐ近くにあるアクセスの良さ、随所に東屋などの休憩スペースや花壇も数多く設けられており、四季の彩りを楽しめる花と緑あふれる霊園として、利用者からも高い評価を得ている。

想いを具現化する 様々な墓所スタイル

故人への想いを具現化する様々なスタイルの墓所が用意されているのも

同霊園の大きな特徴。現在、募集しているのは一般墓地、芝生墓地、ペットと一緒に入れる墓地、有期限墓地、永代供養墓などで、墓地においては

おり、和洋多彩な墓石が建立されている。「万成石」や「本小松石」をはじめ、東北の銘石である「浮金石」や「伊達冠石」、「蔵王石」など国産銘石を使った墓所も印象的だった。また、芝生墓地にはデザイン性の高い洋型墓石が数多く建立されており、園内の景観とも見事に調和している。

「ペットといっしょ墓地」は2016年5月より販売を開始したところ、予想を上回るほどの反響があったとのこと。第1期として販売された69区画は早々に完売となり、新たに区画を造成し、昨年9月に販売を開始した

既に全体の8割以上の区画が販売済みになっているという。

また、有期限墓地「夫婦百年（もとせ）の墓」は、あらかじめ墓地の使用期間を定めているもので、期間満了後は園内の永代供養墓へ改葬されるか遺骨を引き取るか、選択できるという。お墓じまいの費用も金額に含まれているため、お墓の承継に対する心配はいらない。

有期限墓地「夫婦百年」の墓には個別型と共有型の2タイプあり、個別型は一つの区画をひとつの家族が占有し、小さいながらも墓石を建立できるようにになっている。料金の中に墓石代金が含まれていることも特徴だ。

一方の共有型は一つの区画を複数の家族が共有するタイプで、墓石はなく、名前等をプレートに刻めるようになっている。

「有期限墓地」夫婦百年の墓は2015年に誕生したのですが、同じようなスタイルのお墓は当時全国でも珍しかったと思います。開設以来、地元新聞社やテレビ局の取材をはじめ、同業・異業者を問わず、多くの

「平成23年は当霊園が開園して40年ほど経った頃、それくらいから、ご連絡がとれなくなるようなお施主様も出はじめ、近い

現場スタッフによる柔軟な発想のもと、多彩なサービスを次々と展開しているのも同霊園の特徴だろう。このところ高齢者がドライバーによる事故が問題視される中、同霊園では、運転免許証を返納された方を対象に、霊

園と自宅を年3回、無料で送迎するサービスを一昨年からスタートしている。霊園の利用者は比較的、高齢者が多いこともあり、そのための対策として、現場スタッフより生み出されたアイデアでもある。

また、お墓の利用者が亡くなり承継者が不在になったとしても、同霊園が委託を受けて一定期間管理を続ける墓守後見制度「墓託（はかたく）」も4年前からスタート。最長30年間、管理を受けられる有料の制度で、期間満了後に、同霊園がお墓じまいを実施。遺骨は園内の永代供養墓に改葬されることとなっている。自分が生きている間に、お墓の承継問題を解決できる制度もあり、「この制度があるために同霊園へと改葬されるケースも少なくない」という。

このほかにも同霊園では墓地利用者に向けた季刊誌を発行している。この季刊誌では、お施主のお墓に込めた想い・家族への感謝の気持ちなどが掲載されており、その背景には、お墓や先祖供養の大切さを伝えていきたいという霊園側の強い想いが込められている。

一つひとつのお墓には、それぞれのお施主のストーリーがあるもの。取材時に同霊園スタッフの思い出深いエピソードとて次のようなお話をうかがった。

以前、勲章をもらった方から「自分が亡くなったら、この勲章をいっただいことを石

碑に刻んで欲しい」という依頼があったそう。そして、その方が亡くなった後、ご子息にそのことをご存知かどうか確認したところ、「何も聞いていない」という。そこで生前うかがっていたお父さまの気持ちを伝えるべく、納骨のときに、勲章のことが刻まれることになった。

同霊園で理事を務める神谷隆一氏は、「このような家族を繋げる役割も私どもの使命かもしれないですね。お墓は故人の想いや歴史、歩んできた人生など、すべてを受け止めるもの。お墓は人間のアーカイブといえるものでもあり、これからは、ここに眠られている方と家族との繋がりを大切に育んでいきたいと考えています」と今後への想いを語っていた。

2011年3月11日の東日本大震災発生時には同霊園も4割程度の墓所で被害があったという。その際、遺骨の流出を防ぐために開発した「てこ棒」や水平調整の方法、モルタル補強材・墓石を取り

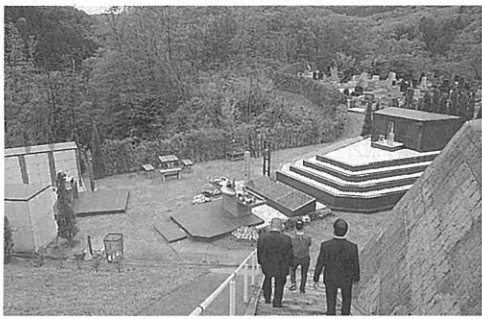
外す際の注意点など、自社の経験をノウハウとしてまとめており、「決して風化させることなく、今後へと役立てていきたい」と話している。

同霊園が高い人気を得ている理由は、柔軟なアイデアと、それを活かす行動力、さらに顧客目線に立った様々なサービスを次々と展開しながら、自社ならではのノウハウを積み重ねていること。

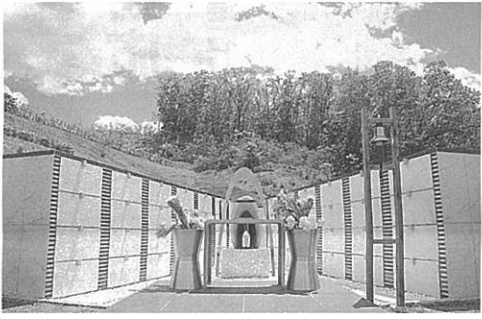
このような不断の努力の継続こそが、現在の結果に繋がっていることだろう。

みやぎ霊園

宮城県仙台市青葉区郷六字大森2-1
TEL022-2262440



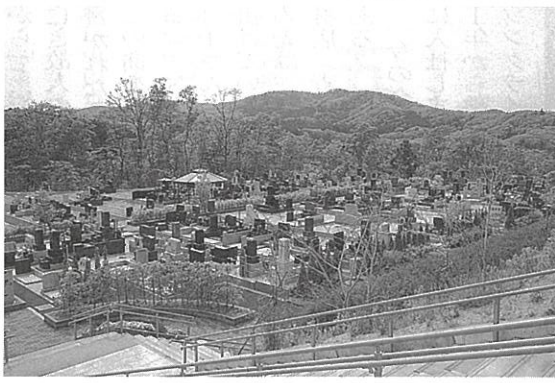
右が第1期、左が第2期永代供養墓



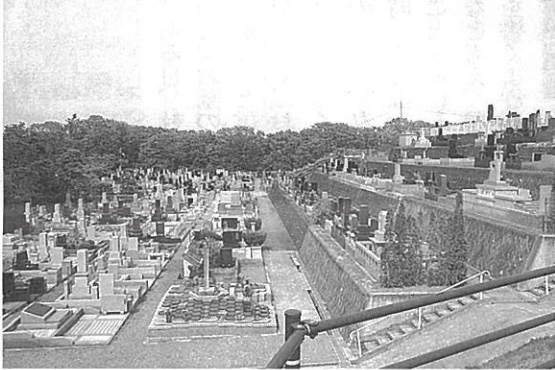
現在販売中の第2期永代供養墓



完売した第1期永代供養墓



一般墓地の風景



芝生墓地

ペットといっしょ墓地

有期限墓地「夫婦百年の墓」(左が個別型、右が共有型)

震災復旧時に役立つ「てこ棒」。これも現場から生まれたものの一つ

参拝者の自宅から霊園までの送迎サービスも行う同園。担当ドライバーの早坂達也氏